

あさひの子

～自分から 自分で～

自ら正しく行う子

大村市立旭が丘小学校 学校だより NO.7

令和8年7月2日 校長 永富 伸介

まとめの7月

6月は雨が多い月です。豊かな恵みのもととなるために雨は必要ではあります。しかし、先週のように極端な雨は時として私たちの安全を脅かすものとなります。臨時休校をはじめとしてその後の対応についても気象情報等の取り扱いが変更となり難しいものとなりました。保護者の皆様には御心配をおかけしました。幸い、児童の登校に大きな影響を及ぼす災害や事故の発生には至らず、通常の教育活動を行うことができました。今後も、安全かつ確実な対応の実現のため関係各機関との連携を深めていきます。今週は久しぶりに晴れ間が見え、少し気分が明るくなりました。いよいよ1学期もまとめの7月となりました。全員揃って無事に夏休みが迎ええられるように見守っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



旭っ子の心を見つめる教育週間

6月25日(木)から旭っ子の心を見つめる教育週間が始まりました。長崎県では平成16年から「命」「思いやりの心」の大切さを大人も子どもも考える機会として「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を設定し、一週間の教育活動を保護者、地域の方々に公開し、共に考えていただく機会を設けています。本校では25日(木)の1校時に私が全校児童に講話をしました。その後、日頃からお世話になっている地域の登校支援ボランティアの皆さんを紹介しました。26日(金)には道徳の授業参観を行いました。「命の大切さ」を考える授業が中心でした。学年で教材をそろえて少しでも子どもたちの心に届くようにと先生方も工夫しています。足元の悪い中お越しいただき大変ありがとうございました。

県内の高校生Sさんが朝刊に投稿した記事「死ぬと言われた経験から」を紹介しました。自身が小学生の頃、たまたまと友達と入った SNS 交流サイトでの体験を綴った文章でした。見知らぬ相手から突然言われたその一言は S さんが生きてきた中で一番傷ついた言葉だったこと、やはり対話や言葉のキャッチボールが大切であることが述べられていました。

私は子どもたちに日々の生活の中で使ってほしい「三つのブレーキ」の大切さを伝えました。

- ①言葉のブレーキ（やめさせる勇気）
- ②伝えるブレーキ（誰かに教える）
- ③一緒に笑わないブレーキ（傍観者にならない）



保護者面談

6月12日(金)から保護者面談を行いました。保護者の皆様と直接顔を合わせる機会を設けること、加えて1学期中間でのお子さんの学校生活の様子(学習・生活)をお伝えし、今後の指導・支援に生かしていくことが目的です。職員からも保護者の皆さんと直接お話ができて大変有意義であったという感想が多くありました。保護者の皆さんにとってはいかがだったでしょうか。もう少し時間が、と思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。また、予定通りに進まずに御迷惑をおかけしたこともあったかと思えます。御理解と御協力をいただいたことに感謝申し上げます。

7月の主な予定

1日(水) 教育週間最終日	14日(火) 放課後子ども教室	【夏季休業期間】
2日(木) 学期末期間(特別日課Ⅰ)	16日(木) 大掃除(5校時)	7月18日(土)～8月31日(月)
8日(水) 迄全校下校13:45	17日(金) 終業式	【全校登校日】 全学年 11:00 下校
9日(木) ぶくぶくタイム(7ツ化物洗口)	全学年 11:00 下校	8月 9日(日) ※県民祈りの日
大村学習社集金期間(4～6年)	19日(日) 家庭の日	【学校閉庁期間】
委員会活動(5・6年)	20日(月) 海の日	8月10日(月)～8月18日(火)
10日(金) 大村学習社集金期間(4～6年)		